

【全国書店にて好評販売中!!】

『ライフデザイン白書2015年』



『ライフデザイン白書2015』（編：第一生命経済研究所、発行：ぎょうせい）を発刊しました。本書は、第一生命経済研究所が独自に実施している全国7,000名以上のアンケート調査をもとに、人々の生活実態や生活意識を分析したものです。

マーケティングや商品開発の基礎データとしても活用いただけます。ご一読いただければ幸いです。

定価 本体1,759円+税

目次

第1章 家族

1. 子どもや親との関係
2. 子どもの教育に対する意識
3. 子育て支援に関する意識

第2章 地域

1. 地域や人とのかかわり方
2. 地域の安心・安全と評価
3. 居住地域への愛着

第3章 消費

1. 暮らし向き
2. 消費に関する意向と意識

第4章 就労

1. 就労状況
2. 現在の仕事に対する意識
3. 高齢期の仕事に対する意識

第5章 健康・介護

1. 健康
2. 介護

第6章 人生設計

1. 生活リスクへの不安
2. 社会保障制度の重視度
3. 高齢期への備え
4. リスクマネジメントとしての人生設計

編集後記

今年の夏は雨、猛暑、雨と予想されたとはいえ極端な天気が続いた印象がある。今更昔ながらのある意味穏やかな夏、真夏日、抜けるような青空、ソフトクリームのような入道雲、適度な夕立といったことは期待できないのかもしれない。

そんな夏に金融市場では中国ショックと言っていい世界同時株安があった。何時ものように原因は一つではないと思う。ただ信頼感（これは投資家の一方的思い込みのことも多いが）が揺らいで一気に不安に襲われたことによるパニック的行動が乱高下を招いた一つの要因だろう。いつの時代も市場を大きく動かす原動力は慢心、平常心を失った不安感、恐怖感だ。

こうした局面で思い出すのは社会人になりたての頃上司から言われた「得意淡然、失意泰然」という言葉。これは有名な中国明代、崔後渠の六然の一節。六然自体は様々な場面での心の持ちようを説いたものだが、「得意・・・」を今風に言えば「上手くいっている時こそ天狗になるな、上手くいかないからと無駄に落ち込むな」ということ。冷静な平常心を保つこと、常に心がけたいものだ。 (H.S)

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@dlri.dai-ichi-life.co.jpまでお寄せ下さい。

○本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。